

持続可能な森林経営研究会

<http://sfmw.net/>

森林施業の問題点等に関するアンケート調査

課題1 森林情報の把握、内容、取り扱いについての問題点と対応

・都道府県によって、森林情報（GISデータ等）を入手できるところとできないところがある。また、各都道府県のデータ形式が異なり取扱いが困難である。せめて山林所有者にはデータの提供をすべきで、データの形式は統一するか同じ形式に変換できるようにすべきである。

課題2 目標とされている森林施業のあり方に関する問題点と対応

・市況の変化への対応のため仕方のないことかもしれないが、今まで通常伐期施業（短伐期）を行ってきた森林を、長伐期施業や複層林施業へと急な方向転換している部分がある。今までの施業状況によっては長伐期林や複層林に移行できない場所もあるので、世間のはやりに流されるのではなく、土地や場所に合わせた施業が必要だと感じる。

課題3 森林計画の体系、内容等に関する問題点と対応

水土保持林と区分されていても、実質は資源の循環利用林となっている感がある。環境に関して注目が集まっているので水土保持林に補助金の予算が多くついていたことが要因だったかもしれないが、資源の循環林にも同様の予算を与えて適正な区分が必要である。

課題4 森林計画の実行、森林施業の実行に関する問題点と対応

日本の森林も高齢級化しているので、補助における間伐の林齢制限の緩和を推進すべき。放置林であっても齢級が高く補助金がつかないため整備が進まないという事態を無くすようにすべき。

課題5 その他（自由にご意見を）

森林情報データは、個人情報保護ということもありますがなるべく提供していただきたいです。